

事務事業 No./名 称	■サービス部門 消防-08 消火栓管理事業						
	□支 援 部 門						
主管課	警防救急課			関連課			
分野名	地域安全						
目標 (目標値)	火災、各種災害等に対応できるよう、消防施設の維持管理を行う。						
人口等の データ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備 考		
	人 口	177,204人	177,161人	176,669人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世 帯 数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯			
	事業の対象者数						
運営資源 状 況	決算値(千円)	8,594	1,542	4,003			
	(国・県)		119	119			
	(負担金等)						
	(一般財源)	8,594	1,423	3,884			
	人員配置数	1.0	1.0	1.0			
	人件費(千円)	8,836	9,184	9,636			
	協 働 の パートナー						
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	17,430	10,726	13,639			
	市民1人当 りの経費(円)	98	61	77			
	対象者1人 当りの経費(円)						
ベンチマーク (県内外自治体 や民間団体と の比較値)	団体名⇒						
指 標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)
消火栓管理事業の達成率	◎	目標値	100%	100%	100%	100%	100%
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	100.0%	100.0%	100.0%		

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切＝○、要改善＝△(評価の視点を参照)	⇒	方向性	A:充実・拡大 B:現状継続 C:改善・見直し D:統合縮小 E:廃止・休止
消火栓管理事業	8,594千円	①効率性 ○	②妥当性 ○	③有効性 ○	④公平性 ○	⇒ □A ■B □C □D □E
	事業の概要	消火栓の維持管理				
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					
		①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	⇒ □A □B □C □D □E
	事業の概要					

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	定期的に点検を実施し、維持管理に努める。
課題解決のための取組	水道営業所と連携し維持管理に努めた。
未解決の課題	消火栓の設置及び管理等に関する協定書に基づき点検を実施し、課題等なし。

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価と今後の方向性						
中事業の評価	適切○ 要改善△ (評価の視点を参照) 	①効率性	○	今後の 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続C: 改善・見直しD: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
		②妥当性	○		 B	課長等名
		③有効性	○			警防救急課長
		④公平性	○			斎藤 務
引き続き消火栓の維持管理に努め、消防の責任を果たす。						

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果	
消火栓管理事業	主な個別事業	235 消火栓の維持管理	8,356	8,356	☒ 適切	☐ 見直し余地あり
	主な個別事業				☐ 適切	☐ 見直し余地あり
	主な個別事業				☐ 適切	☐ 見直し余地あり
	主な個別事業				☐ 適切	☐ 見直し余地あり
	主な個別事業				☐ 適切	☐ 見直し余地あり